

■ひと・まち活性化部会（人口減少抑制）■

テーマ：子どもを産みたい，育てたいと思える環境づくり

「北区民まちづくり会議」委員の皆様に加え，関係者を部会にお招きし，ワークショップ（2回）を開催。具体的な論点に沿って，意見集約し，平成30年度以降の取組に繋げていきます。

【背景】

（産む）

- ・ 結婚や出産についての考え方が多様化
- ・ 出産や子育てに係る経済的負担が大きい

（育てる）

- ・ ひとり親や共働き家庭が増え，地域の支えがますます必要に。
- ・ 核家族化により，多様な世代と関わる機会が減少

⇒ 子どもの育ち，子育てを市民ぐるみで支え合い応援する「はぐくみ文化(※)」の創造の必要性

※ 大人（地域のおっちゃん，おばちゃん，お年寄り）と子どもとの多様で緩やかなつながりが，互いの「はぐくみ，はぐくまれる」関係へと発展していく状態。

【現状】

- ・ 北区内で，既に様々な主体(※)が子育てに関わっている。
※ 区役所，幼稚園，保育園，児童館，社会福祉協議会，民生児童委員，PTA，大学等
- ・ 区役所も事業を行っているほか，他機関との連携した会議等(※)もある。
※ 北区子育て支援ネットワーク会議，すくすく赤ちゃん広場，基幹ステーション会議
- ・ 上記の連携会議等において，“町内の関係性が希薄になり，乳幼児の把握等がしづらい”などの意見が寄せられている。
- ・ 一方，今後子どもを産むかもしれない若年世代に対する取組が少ない。

【検討の方向性】

- ・ 様々な主体による取組の現状，不足している取組を整理する。
- ・ 町内会や学区単位で，子育て世代が地域と繋がる仕組みを考える。
- ・ 今後，子どもを産むかもしれない若年世代に対するアクションを増やす。

【ワークショップ】

第1回（平成29年10月頃）

論点：様々な主体による活動の情報共有，ニーズの検討

- ・ 団体の取組内容や，課題に感じていることの共有
- ・ 子育て世代のニーズを探り，不足する点を整理

第2回（平成29年12月頃）

論点：第1回の議論を踏まえ，それぞれの立場でできることを検討

- ・ 各団体が課題に感じていることを踏まえ，子ども・子育て世代×地域が顔見知りになるためにそれぞれの団体でどういったことが出来るかを検討する。
- ・ 今後，子どもを産むかもしれない世代に対する取組の検討

【部会メンバー】

ご担当いただく北区民まちづくり会議委員の皆様に加え，以下の団体等のメンバーをお招きする。

- ・ 地域代表者
- ・ 学区内の子どもに関わる各種団体
- ・ 子育てに関わるNPO
- ・ 保育科など子どもに関わることを学んでいる大学生
- ・ 幼稚園，保育園，児童館
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 民生児童委員
- ・ PTA
- ・ 北区はぐくみネットワーク実行委員会
- ・ 北区役所子どもはぐくみ室職員 など